



EARTH on EDGE

EDGE-NEXT2020年度共通基盤事業
レジリエント社会構築を牽引する
社会起業家精神育成プログラム

復興プロセスを振り返って考える未来のレジリエンス
-「眼前の事態」を捉えて新たなレジリエンスを提案する-

プログラム趣旨

武田 浩太郎

東北大学 大学院工学研究科
工学系研究企画室/ EDGE-NEXT事務局

EDGE-NEXTとは



EDGE-NEXT :

Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation

文部科学省 が主管する人材育成支援プロジェクト

我が国のイノベーション創出の活性化のため、大学等の研究開発成果を基に“次世代アントレプレナー”を育成する事業。

これまで各地の大学で取り組まれてきた企業家教育の知見を活かし、学部学生や専門性を持った大学院生・若手研究者を対象に、アイデア創出やビジネスモデルの構築を目的とした教育プログラムを開発・実施し、将来の産業構造の変革を起こす人材育成を目指すものです。



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



神戸大学



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

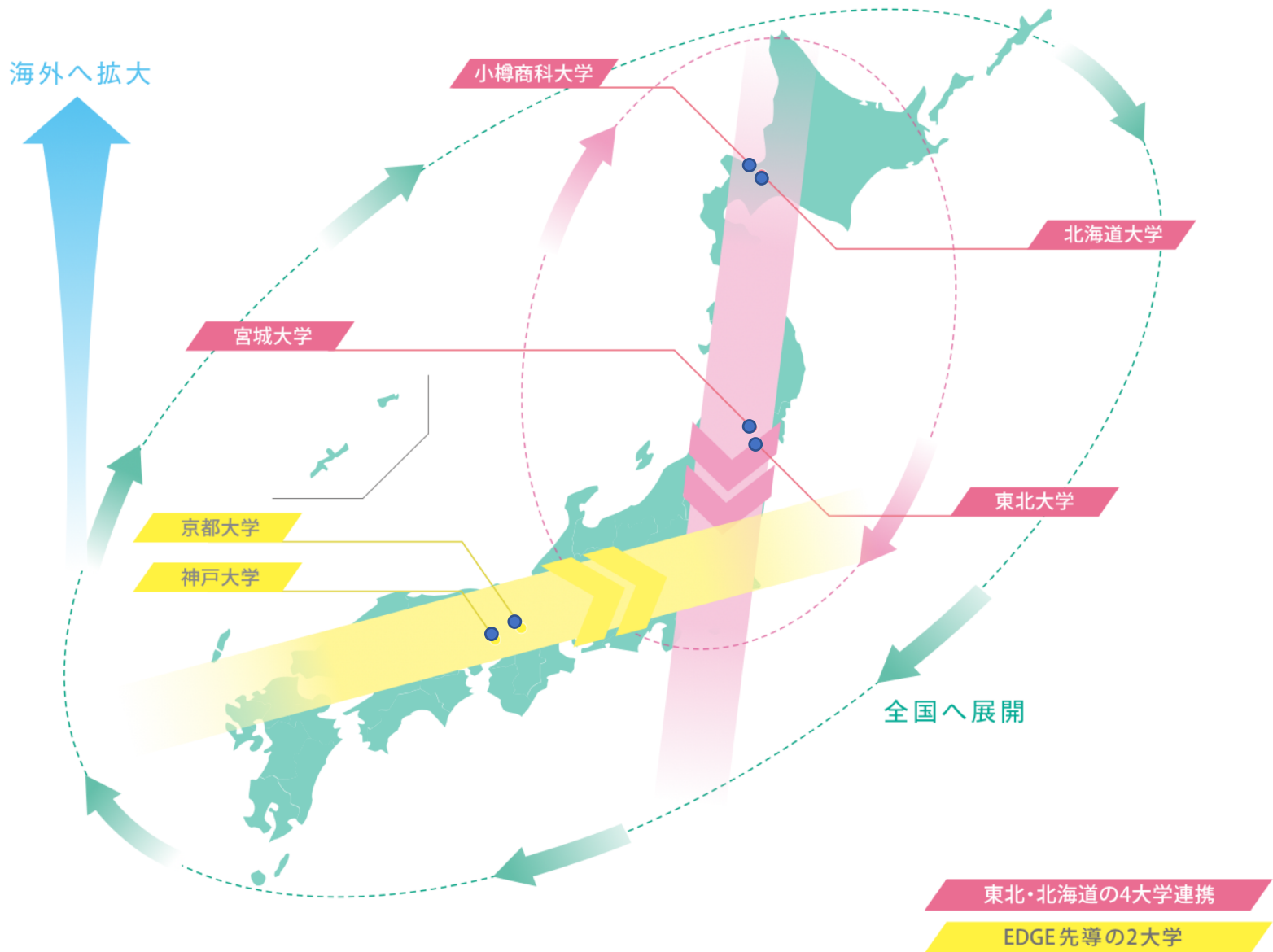


北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



国立大学法人
小樽商科大学

EARTH on EDGEコンソーシアム



多発化・激甚化・複合化する自然災害

「これまでに経験したことのない…」

「想定外の…」

「自らの命を守る行動を…」

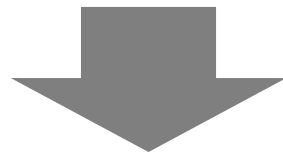
国民一人一人が災害を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、**「自らの命は自らが守る」「地域住民で助け合う」という防災意識が醸成された地域社会を構築することが重要**である。

内閣府、令和2年版防災白書、1-1「国民の防災意識の向上」より

これからの「防災」に必要なもの・こと

・リアクション：発災後の復旧・復興の取り組み
=>日本には世界にないノウハウの蓄積がある

・プロアクション：「事前」の防災・減災／復興促進



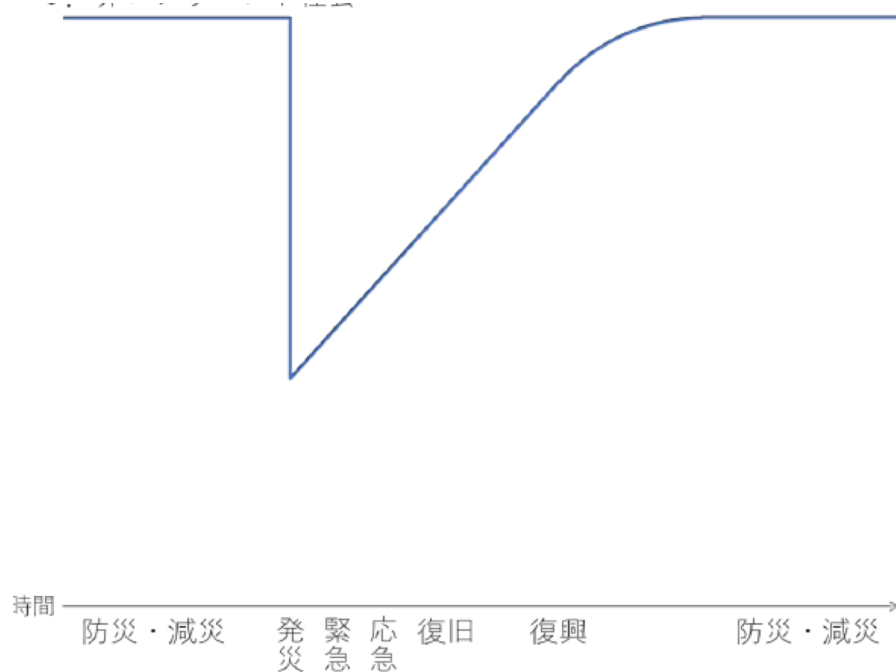
新事業を設計し、実装する

「社会起業家精神を持った人」

＝「レジリエント社会の構築を牽引する人材」

防災・減災／復興促進におけるレジリエント社会とは

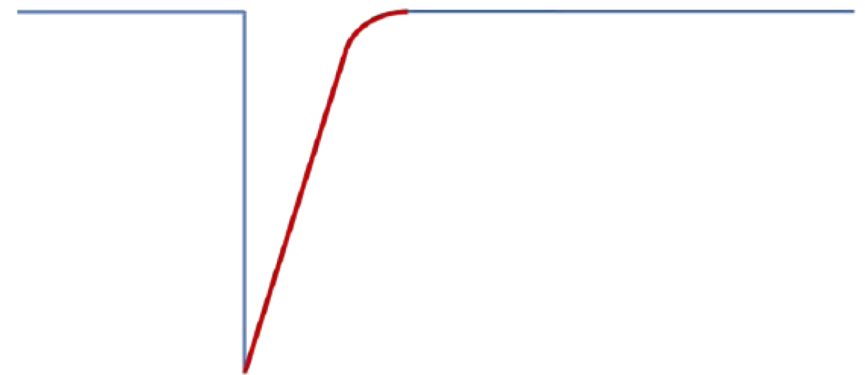
0. 非レジリエントな社会



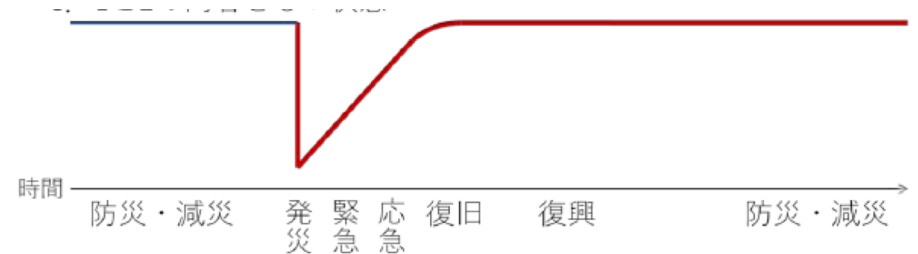
1. 発災時のダメージが小さい



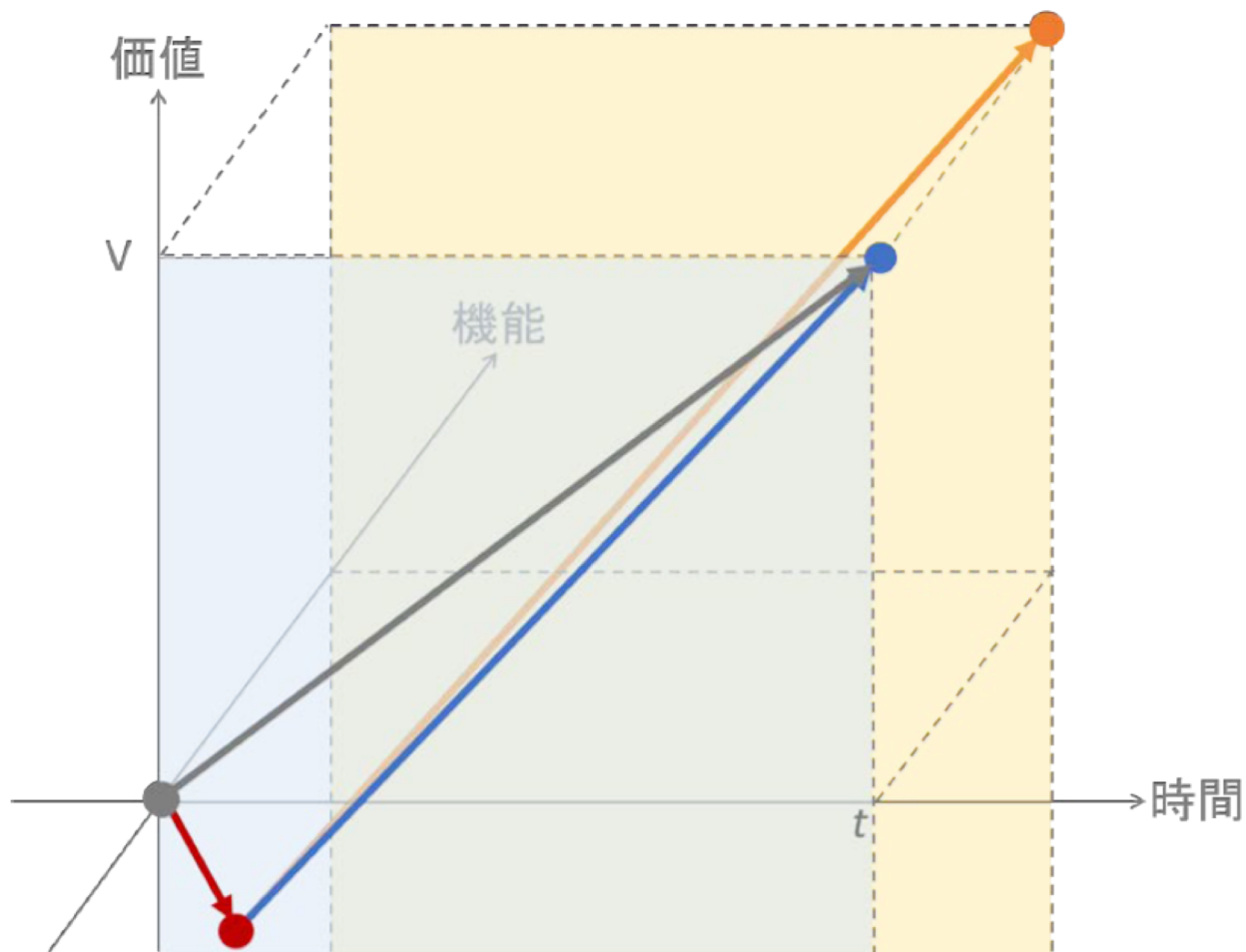
2. ダメージからの回復が早い



3. 1と2の両者をもつ



防災・減災／復興促進におけるレジリエント社会とは



「レジリエント社会の構築を牽引する人材」に必要な能力

アントレプレナーの基本的なスキル・能力に加えて、以下4つの能力を兼ね備えることで、「レジリエント社会の構築を牽引する人材」として、防災・減災／復興促進に資する新事業を設計・実装することができると思っています。

- 1 社会システムの脆弱性を読み解く
- 2 極度の状況変化による影響を理解する
- 3 自助・共助・公助の視点を有する
- 4 社会的価値と経済的価値を両立する

本プログラムでは、未来のレジリエント社会を構築するために必要と考えられる知識と思考力を養うための合宿形式の研修を提供し、今後の我が国の防災・減災／復興促進の在り方を皆さんと一緒に考えます。